

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援事業所 セカンドプレイス		
○保護者評価実施期間	令和6年12月		～ 令和7年1月
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24人	(回答者数) 14人
○従業者評価実施期間	令和6年12月		～ 令和7年1月
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2人	(回答者数) 2人
○訪問先施設評価実施期間	令和6年12月		～ 令和7年1月
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	10施設	(回答数) 3施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問先との事前に打ち合わせを行い準備してから介入を進めている。(間接支援、直接支援、環境調整等)	・訪問先に事前に訪問の入り方を聞き取る(廊下から観察、教室内で観察、授業が始まってから気づかれないように観察等) ・実際に遊ばないと感じない部分は観察だけではなく、活動に入ってコミュニケーションを図ることや、遊ぶことも行う。	・事前に情報共有を念入りに行うことや、介入時に説明をすること、子どもたちがいつも通りで過ごせるような関わり方、緊張感を与えない介入に気を配る。
2	・専門的視点から観察できる(理学療法士、保育士)	・身体を使う機会の訪問調整を行う(運動会、体育の授業、持久走大会)	・生活の場面(園や学校)で身体機能面の評価を申し送り、事業所と連携し身体面へのアプローチを繋げ、支援の幅が広がり身体機能面が向上していくような取り組みの流れを確立していく。
3	・保護者への報告に関してモニタリングや担当者会議等にて参加し報告する。	・書面報告よりも直接面談や担当者会議等顔を合わせる機会にて報告することで園や学校の雰囲気や子どもの様子など細かな部分での報告ができ、今後の目標等につながるように行う。	・訪問時や訪問後も訪問先とのコミュニケーションを充実させ、取り入れやすい支援や環境設定等選択していただけるような情報提供を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・弱みといえますか、発達や特性に関する最新の知識を得続けていくことが課題。	・行動観察が素早く的確に行えるスキルの向上ができるよう、研修会の積極的な参加が必要。(今年度、発達サポート研修会、強度行動障害支援者養成研修参加済み)	・フォーマル、インフォーマルな評価の選定と研修会の継続的な参加や幅広い訪問支援の知識向上のための研修会参加。
2	・保育所等訪問支援事業自体の情報発信の少なさ。	・情報発信の程度や場面の選定ができていない。情報発信は必要ないと感じていた部分もある。 ・保護者さまや訪問施設へスピード感あるフィードバックができていない施設もあった。	・情報発信について保護者様や関係機関より要望もあるので模索してみる。 ・訪問先とのコミュニケーションをとり、フィードバックの程度や時間帯、どのようなツールで報告をすれば良いのかを事前に検討しておく。
3			

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 保育所等訪問支援事業所 セカンドプレイス

公表日 R7年2月28日

利用児童数 24人 回収数 14人

	チェック項目	利用児童数				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	9	2		3		使用する教材自体が何があるんだろうという疑問も感じますので、訪問にいく際の準備等の発信を行います。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	13	1				
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	14					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	12	1		1		訪問時は園や学校と訪問日時を協議し調整いたします。その際に頻度や訪問時の見る場所、入り方等もご意見いただき入していく流れをとらせていただいております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	13	1		1		事業標準を満たした人員配置を行っております。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	12	1		1		初回の支援計画書には保護者様からの支援の意向を優先させていただいております。訪問先施設の意向は修正時に盛り込む流れをとらせていただいております。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13			1		直接支援の必要の際は部分的に支援に取り入れます。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14					
保 護 者 へ の 説 明 等	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	13			1		訪問時は園や学校と訪問日時を協議し調整いたします。その際に頻度や訪問時の見る場所、入り方等もご意見いただき入っていく流れをとらせていただいております。ご意見や不明な点がありましたら、いつでもご連絡ください。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1	1	1		今後、ご家族に向けたペアレントトレーニングやペアレントプログラムが実施できるような体制作りを行っていきます。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていると思いますか。	14					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14					
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					
	20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	12	1		1		訪問先によって相談や振り返りの時間を設け意見の交換の場を設定しております。
非 常 時 等 の 対 応	21 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	12	1		1		訪問時は園や学校と訪問日時を協議し調整いたします。その際に頻度や訪問時の見る場所、入り方等もご意見いただき入っていく流れをとらせていただいております。
	22 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	12	1		1		モニタリングや担当者会議等で訪問時の様子を報告させていただきます。
	23 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	1		2	積極的に見ていないので発信に気づいてないのかもしれない。	ご意見ありがとうございます。保育所等訪問支援自体のSNS発信機会がなかったので、今後は積極的に行いますので楽しみにさせていただきます。
	24 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					
	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	12	1		1		緊急時は利用児童に対して介入できるよう、事業所内でも必要時の訓練や研修を行います。
	26 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			1		訪問支援は事業所でも避難訓練や研修等で子どもの安全を確保するための知識を経て訪問へ向かいます。緊急時に訪問先と連携し子どもたちの安全を最優先に考え行動します。
	27 こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	13			1		訪問後にお子さんの様子の変化がありましたらすぐに連絡していただくとありがたいです。今後の訪問の入り方を再度検討いたします。
	28 事業所の支援に満足していますか。	14					保護者が園での様子を見る機会が少なくないので、活動を専門的な視点から見てもらえることができ助かっています。園での成長を生活の場面で見守らせていただき、一緒に成長を喜び、感じていただけていることに感謝しています。今後ともよろしくお願ひします。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

R7年2月28日

保育所等訪問支援事業所 セカンドプレイス

利用施設数

10施設

回収数

3施設

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3			活動内容や本人の様子、特性から取り入れやすい助言をいただいていると感じる。	沢山の質問をしていただき、受け入れ、また、沢山子どもの情報を提供していただきありがとうございました。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3			直接支援で様々なアプローチを試し、その状況考察も加え有効な方法を教えて頂いている。	直接支援の介入をスムーズに入らせていただきありがとうございます。子どもの様子が把握でき支援方法等が見つかりやすく感じました。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	3			その時の困り、私たち園でのアプローチ方法など職員の気持ちに寄り添って相談にのってくださいます。	少しわかりにくい特性への理解をしていただき共有していただけたこと、一緒に子どものいいところを伸ばせたことが1番だと感じています。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3			様々な支援方法の引き出しが増え対応が職員間で共有されたこと情緒面が安定してきています。	情報共有の時間を割いてくださり、先生方と一緒に悩むことができ小さいステップから取り組めた事もよかったですと感じます。先生方も沢山児童のいる中で変化に柔軟に対応して下さった事も大きいと感じます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	3			とっても満足しています。	ありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>①毎回専門的な視点で子どもの様子を細かく観察していただきありがとうございます。後日丁寧な報告書をいただくのですが、できればその日の午後などお時間あれば反省も兼ねて、お電話で助言をいただけるととてもありがたいです。</p> <p>②日々の保育の中で言葉使いや態度など見逃してしまっていた事柄や私たちの支援方法が困りごと（問題行動）を助長してしまっていたかもしれないと改めて考えたり、教わった支援方法を共有したりすることができました。何より子どもの気持ちになって寄り添うことの大切さ、これからの成長に向けて必要な支援を考えともに取り組んでいるように感じます。いつも細やかな配慮ありがとうございます。これからもよろしくお願いたします。</p>					<p>①ご意見ありがとうございます。いつも訪問させていただきありがとうございます。先生の関わり方で私も勉強をさせていただいております。報告書に関してのご意見に沿って早速今月から実施させていただきます。引き続き、園での取り組みを一緒に試行錯誤していけること楽しみにしております。今後ともよろしくお願いたします。</p> <p>②今年度1番どのような方向性でいくか悩んだ子どもさんでした。先生方の熱心に聞いてくださる姿勢や私に沢山の情報をくださる中で一緒に支援の方向性や取り組む目標を決め、共有できたことは大きかったですと感じます。毎月、子どもさんが変化しているのが見れてワクワクしながら訪問していました。訪問を重ねるたびに先生を中心にクラスの子どもの表情がとても柔らかくなっていました。先生方の日々の保育の賜物です。こちらこそ今後ともよろしくお願いたします。</p>	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		保育所等訪問支援事業所 セカンドプレイス		公表日 R7年2月28日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	2			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に つなげているか。	2			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか 。		2	第三者による評価はなかった。	事業所の第三者の意見はなかった が、訪問先からの評価を受け今後 に活かしていきます。第三者の意 見についても今後検討します。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研 修を開催する機会が確保されているか。	2			
適切 な支 援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成 しているか。	2			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だ けでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最 善の利益を考慮した検討が行われているか。	2			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連 携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行わ れているか。	2			
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマル なアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセ スメントを使用する等により確認しているか。	1	1	行動観察等のインフォーマルなアセス メントに偏っている。	事業所でもフォーマルなアセス メントの検討を行っていく。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育 所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設 定されているか。	2			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行わ れているか。	2			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内 容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか 。	2			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の 振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2			
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して 支援を行っているか。	2				

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	1	1	訪問後の報告が遅れることがありました。	困り感に応じてスピード感ある対応を行います。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1	ペアトレ・ペアプロの開催はなかった。	ペアトレ・ペアプロを開催できる体制を整えていきます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	1	事業所では保護者イベントも実施されているが、保育所等訪問支援自体での活動の不足を感じる。	保育所等訪問の保護者会や交流する機会へのアンケート等の実施を行う。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		2	今年度の情報発信は消極的でした。	来年度は積極的に保育所等訪問支援事業も情報を発信します。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2			

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			